

満州国と日本におけるマスメディア創成期年表

【戦争】

1894～1895年 **日清戦争**
 1895年 下関条約調印
 賠償金2億テール
 (約3億円)を得る
 1902年 **日英同盟**締結
 1904～1905年 **日露戦争**
 1905年 ボーツマス条約調印
 アメリカ合衆国大統領
セオドア・ルーズベルト
 の斡旋により調印

1914～1918年 **第一次世界大戦**
 連合国 英・仏・露・米・伊・日etc
 中央同盟国 独・奥・勃etc
 1921年 **四ヶ国条約**締結
 米・英・仏・日
 1923年 **日英同盟**失効

1933年 **国際連盟**脱退

1939～1945年 **第二次世界大戦**
 連合国 英・仏・米・中・和・ソetc
 枢軸国 独・伊・日・洪・勃・芬etc

【日本】



松方正義

1867年 **明治維新**
 1882年 日本銀行開業
 設立者 **松方正義**



光永星郎

1901年 **光永星郎**、日本広告を設立。**電報通信社**を創立
 日清戦争時には従軍記者として中国入りした



高橋是清

1904年 日銀副総裁 **高橋是清** クーン・ローブ商会の
 ジェイコフ・シフと日露戦争の戦費調達成立
 1905年 鉄道王**エドワード・H・ハリマン**来日
 南満州鉄道の共同経営の為 反対し実現に至らず
 (クーン・ローブ財閥の代表として来日)

1906年 「**電報通信社**」を「**日本電報通信社**」とし株式会社化

1907年 「**日本電報通信社**」と「**日本広告**」が合併



古野伊之助

1936年 戦前の国策通信社の「**同盟通信社**」が設立
 初代社長 **岩永裕吉**
 1911年満鉄入社、1917年後藤新平秘書官就任
 2代社長 **古野伊之助**
 (A級戦犯容疑者として逮捕 不起訴により釈放)
 1932年 満州入り



松本重治

編集局長 **松本重治**
 (日銀設立**松方正義**の孫、後に公職追放)
ジョン・ロックフェラー3世は松本を無二の親友と呼ぶ
 (財)国際文化会館 理事長
 アメリカ学会 会長



長谷川才次

1940年 政府の統制を容易にするため、**朝日新聞社**、
大阪毎日新聞社(東京日日新聞・大阪毎日新聞)
読売新聞社の大手新聞3社と**同盟通信社**のニュース
 映画部門が統合され、**社団法人日本ニュース映画社**
 とする

1941年 **社団法人日本ニュース社**は、東宝、松竹の文化映画
 部門と各文化映画製作会社を吸収し、**社団法人日本
 映画社**へ改組

1945年 終戦後、戦争責任でGHQに解体されるのを避けるた
 めに、「**同盟通信社**」を
 「**共同通信社**」理事長 **松方三郎**
 「**時事通信社**」初代社長 **長谷川才次** に2分割

1947年 **上田碩三**(電通3代社長)がGHQにより公職追放
吉田秀雄 電通4代社長に就任

1949年 **マイルズ・ボーン**米UP通信社副社長と**上田碩三**が
 東京湾で遭難死



正力松太郎

1952年 「**日本テレビ**」開局
 初代社長 **正力松太郎**
 (A級戦犯 不起訴により釈放)

1955年 「**日本電報通信社**」から「**電通**」に社名変更

【満州】

1906年 国策会社「**南満州鉄道**」設立
 初代総裁 **後藤新平**
 台湾総督府民政長官として植民地行政に実績を
 認められ初代総裁に就任



後藤新平

1907年 「**満鉄調査部**」設立
 東亜経済調査局長 **岡松参太郎**
 後藤新平により招聘された



岡松参太郎

1931年 **満州事変**

1932年 「**満州国**」建国
 「**満州国通信社**」初代主幹 **里見甫**
 (阿片王:A級戦犯 不起訴により釈放)
松方三郎(理事長)



里見甫

リットン調査団 満州入り

1934年 **吉田秀雄** 上海に渡り、中国市場の媒体の
 ほとんどを電通扱いの快挙
 背後に[軍]との連携があり
塚本誠(元憲兵大佐、後に電通入社)
 中国市場の情報関係の人間たちに絶大な力あり



吉田秀雄

1936年 **岸信介** 満州国国务院実業部総務司長に就任
 (A級戦犯 不起訴により釈放)



岸信介

1937年 「**満州映画協会**」設立
影佐禎昭 民間人里見甫を指導し里見機関を設立
 中国で阿片権益による資金は関東軍へ



影佐禎昭

1939年 **甘粕正彦** 満映理事長に就任
 1930年 満州入り
 国策である阿片ビジネスでリーダーシップを取った



甘粕正彦

1945年 **満州国崩壊**